

1 9/1金 山と地域をつなぐ建築概論



【木材調達コーディネーター】

安田 哲也

YASUDA Tetsuya

NPO 法人サウンドウッズ代表理事
一級建築士

1970年兵庫県生まれ 1993年京都工芸繊維大学造形工学科卒業後、設計事務所勤務、青年海外協力隊参加を経て、2002年に自身の建築設計活動開始。2009年NPO法人サウンドウッズ設立に参加し代表理事就任。全国の公共施設整備を中心に、木の建築の企画構想発注支援、木材調達支援に取り組む他、木材コーディネーターの人材育成事業展開。全国の府県主催の中大規模木造建築の実務者向け講座のコーディネーターの他、高知県立林業大学校、岐阜県立森林文化アカデミー、京都大学、奈良女子大学、京都女子大学などで森と木の建築に関する非常勤講師を務める。主なプロジェクトに、香美町立村岡小学校幼稚園（兵庫県2018年木の建築賞大賞）、魚津市立星の杜小学校（富山県2020年木材利用コンクール国土交通大臣賞）、西粟倉村あわくら会館（岡山県2021年木材利用コンクール内閣総理大臣賞）、京丹波町役場新庁舎（京都府2022年木材利用コンクール農林水産大臣賞）。



【環境影響評価】

淵上 佑樹

FUCHIGAMI Yuki

三重大学大学院生物資源学研究所
准教授
博士（農学）

1982年佐賀県伊万里市生まれ。京都府地球温暖化防止活動推進センター勤務を経て、2015年に三重大学大学院資源学研究所助教、2020年より現職。専門は木材に関する環境影響評価、経済効果の分析など。

2 9/2土 木造の耐久性と維持管理、山と製材所 視察



【耐久性計画】

原田 浩司

HARADA Koji

ウッドストック 主宰
木構造振興株式会社客員研究員

1982年広島大学工学部第四類構造工学課程卒業 安藤建設（株）入社。その後、木造住宅の工務店、木質構造専門の構造事務所、集材メーカー、秋田県木材加工推進機構にて文科省補助事業の科学技術コーディネーター、山村再生支援センターの研究員、現在、ウッドストック 主宰、木構造振興(株)客員研究員。

■資格

一級建築士（構造一級）、一級施工管理技士、
技術士（森林部門・林産）、博士（工学）



【林業現場、製材所】

滋賀中央森林組合

Forest Owners Cooperative
Shiga Central

森林造成、林道・作業道開設、
森林整備、山腹崩壊地の復旧緑化、
病・害虫駆除、獣害防護、
間伐・搬出、資源・物資提供
製材、木材加工、木製品生産など



当森林組合の管内である湖南市・甲賀市・日野町の地域概要は、総面積66,981haの内、地区内の森林面積は42,256haで総面積の約63%を占めます。民有林面積は40,209haで森林面積の約95%を占めます。その内、人工林面積は20,308haで森林面積の約48%を占めます。

当地域は、滋賀県の南東部に位置し、経済や交通の要所として発展が期待される地域となっています。そのため、沿線では都市化が進み、都市近郊林としての性格を有する森林の比率が非常に高い状況にあります。

一方、当地域では、古くからスギ・ヒノキを中心とした造林・育林が盛んであり、地味が肥沃で降水量も多いことから、特に「甲賀ヒノキ」は、良質材として広く知られ利用されてきました。しかしながら、木造住宅構造と生活様式の変化により、木材需要が無地ヒノキ材の高級材から並材へ移行し、需要面においてもヒノキ材からスギ材に変化し、今やヒノキ材とスギ材の価格差が殆ど無くなってきている現状にあります。



【製材所】

株式会社 土山木協

Tsuchiya Mokkyou inc.

製材加工、木材加工など

昭和32年の創業以来、地域の皆様に支えられながらここ土山町で製材業を続けてまいりました。時代の変化と共に木材に対する価値が大きく変わりました。目に見える形で建築様式も変化し、人々の心の中にある木材に対する思いも変化していきました。いつも身近であった木材をもう一度見直す時代が来ている様に思います。しかし、先代・先々代が残した製材に対する志しを大切に、これからも同じ思いを持った仲間と共に日々努力を積み重ね、お客様に感動をお届けできるよう邁進してまいります。

「芽くばり・木くばり・心くばり」を基本信念とし、次の時代に残る確かな製材と確かな思いでこれからも従業員一同、努力してまいります。

3 9/26 火 木の保育園の設計事例とコストの話



【木の保育園 設計】

古川 泰司

FURUKAWA Yasushi

アトリエフルカワー級建築士事務所代表
一級建築士

アトリエフルカワー級建築士事務所の代表の古川です。

木を生かした「森とつながる建築」の設計を行っています。また、住宅医の資格を持ち、中古住宅の診断、耐震改修、断熱改修、生活改善の提案を行っています。

1963年 新潟県生まれ、1985年 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業、1988年 筑波大学院芸術学系デザイン専攻建築コース修了、有限会社長谷川敬アトリエ、地域の工務店勤務を経て1998年 アトリエフルカワー級建築士事務所設立。

武蔵野美術大学構想造形学部クリエイティブイノベーション学科特別講師、その他、講演会など多数

■主な受賞歴

「わらしべの里共同保育所」が「第20回木材活用コンクール」会長賞、「木の建築賞2019」キノチカラ建築賞

■著書

『木の家に住もう。』（共著、エクスナレッジ、2021年）

『世界で一番くわしい木材 最新版』（共著、エクスナレッジ、2022年）

4 10/20 金 一般流通材で魅せる構造計画



【木構造計画】

山田 憲明

YAMADA Noriaki

山田憲明構造設計事務所代表
構造設計一級建築士

1973年 東京都生まれ、1997年 京都大学工部建築科卒業後、増田構造事務所入社、2012年 山田憲明構造設計事務所立、2013年～早稲田大学非常勤講師

■主な受賞歴

2011年「国際教養大学図書館棟」で「第22回JSCA賞」作品賞。2012年「東北大学大学院環境科研究エコラボ」で「第7回日本構造デザイン賞」。2019年「南小国町役場」で「第14回木の建築賞」木の建築大賞。2020年「ふみの森もてぎ」で「第15回木の建築賞」木の建築大賞。2020年「大分県立（昭和電工）武道スポーツセンター」で「第23回木材活用コンクール」農林水産大臣賞（最優秀賞）。「住友林業筑波研究所新棟」で「第23回木材活用コンクール」国土交通農林水産大臣賞（最優秀賞）。2021年「上勝ゼロ・ウェイトセンター」で「日本建築学会賞（作品）」「第22回 2021年度 JIA環境大賞」。

■著書

『構造ディテール図集』（オーム社、2016年）

『構造設計を仕事にする』（学芸出版社、2019年）

『ひとりで学べる中層木造建築（ラーメン構造等）の構造設計演習帳』（日本建築センター、2020年）ほか

『ヤマダの木構造 改訂版』（エクスナレッジ、2023年）

5 11/ 9 木 木を活かす防耐火のデザイン



【防耐火計画】

安井 昇

YASUI Noboru

桜設計集団代表
NPO法人 teamTimberize 理事長
一級建築士 / 博士(工学)

1968年 京都市生まれ。東京理科大学理工学研究科修了。積水ハウス勤務を経て、1999年 桜設計集団設立。2004年 早稲田大学理工学研究科博士号取得。建築設計のほか、建築防火が専門。高知県立林業大学校特別教授。

■主な受賞歴

2013年「奈良の木」デザインコンペ優秀賞 谷中の町家～吉野杉による木造準耐火建築物～、2016年ウッドデザイン賞 2016林野庁長官賞 堀切の家

■著書

『世界でいちばんやさしい木造3階建て』（共著、エクスナレッジ、2013年）

『都市木造デザイン大全』（共著、日経 BP 社、2018年）

6 12/15 金 設計提案プレゼン、講評、修了書授与式

第1回講師の安田哲也さん、セミナー修了建築士の方に講評いただきます。